

かじき 広報

No.294
昭和54年 8 月号

発行/加 治 木 町
編集/総 務 課
印刷/有 吉 屋 印刷

夏に鍛えよう



早朝走ろう会スタート

毎月第3日曜日、朝の6時30分、加治木高校グラウンドで行われます。

あなたも体力増進のため参加してみませんか。お待ちしております。

◆人口22,216(+26) 男10,625(+6) 女11,591(+20) 世帯数 7,224(+12) 54.7.1現在()前月比

町道舗装工事費など

一般 二九百三十一万一千円を追加

定例6月議会

四月の統一選挙後はじめての定例六月町議会は、六月二十二日から二十九日までの八日間の会期で開かれ、一般会計補正予算を始め町監査委員の選任など、議案三件報告二件、陳情・請願九件、合わせて十四件の議案等が審議されました。

一般会計 三十億二千五百三十二万一千円に
予算総額

可決された昭和五十四年度一般会計補正予算は、歳入歳出とも二千九百三十一万一千円が追加となり、予算総額は三十億二千五百三十一万一千円、初めて三千億円を越す大型予算となりました。追加されたおもな内容は、次のとおりです。

救急医療施設運営補助四十六万五千円、農林振興運動集会所施設補助一百五十万円、町道舗装費一千六百八十万円、水防倉庫移転費一百二十万円等であります。

監査委員に

新納正教氏
を選任

町監査委員に、柳田の新納正教氏(こ)を選任することに同意しました。これは、前白尾委員の辞任に伴い選任されたものです。

新納氏は、今年の二月、県くみあい開発株式会社専務取締役を退任。

現在、行政相談員(行政管理庁委嘱)としても活躍されております。

人権擁護委員に

中 摩 多美子さん



本町、竹下部落の中摩多美子さん(五三)は、人権擁護委員として、このほど法務大臣から発令されました。

人権擁護委員の職務内容は、他人の人権を尊重し、自分の人権をその侵害から守るための啓発とその

の相談、人権侵犯事件の調査、貧困者の訴訟についての費用のあつせん等のほか、国民が憲法で保障されている基本的人権が侵害されないように監視し、侵害行為があつた場合にはその侵害の排除、救済の相談にあたることです。

連絡先は
加治木町反土二七五六番地(竹下) 電話二二二七六八

陳情・請願

今回は陳情八件、請願一件が提出されましたが、一件が採択されました。

農業委員会だより

農用地の利用増進をはかろう

農用地の効率的利用と、経営の規模拡大をはかるため、利用権の設定(貸し、借り)が計画的にできるように「農用地高度利用事業」が制定されました。

本町においても、本年度(八月)から実施することになりましたのでその内容についてお知らせします。

一、制度創設の背景

最近の農用地の利用や、経営に関する志向をみると農用地を自ら耕作する意欲を有しない傾向が多くなり、荒し作りや山林への転用と利用度が低下しつつあり、このような中で農用地の効率的な利用を促進するには、地域ごとに、所有者の意向に基づいて計画的に高度利用する仕組みでこの制度が創設されました。

二、制度のねらいと特色

(1)農地を有効利用する方法として農業者が借りうけて経営の規模拡大をはかる。

(2)農用地利用増進規程に基づき、推進協議会を設置し、その中で貸し手、借り手のほり起し活動をすすめる。

他の八件については、継続審査となりました。

採択されたのは、統合中学校周辺地域の早期整備に関する陳情であります。

る。

(3)利用権には、一定の存続期間を定め、期間が満了するごとに貸し借りは自動的に終了する。改めて再契約を設定できる。

(4)重要な農地法の特例が設定され権利設定の法三条、小作地の所有制限の法六条、更新拒絶の通知、法二十条の手続きを要しない。

三、農地流動化奨励金の交付

高度利用促進事業を通じて賃借権の設定をしたものに対し、奨励金を交付する。

(ア)賃借権の存続期間が三年以上六年未満の場合十『当り一万円。

(イ)賃借権の存続期間が六年以上の場合十『当り二万円。

(ウ)期間借地による場合は二分の一相当の金額。

(エ)賃借権の設定をうけるものが賃借人の世帯員であるときは奨励金は交付しない。

四、その他

農地の利用権についての窓口は町役場経済課、又は農業委員会(推進員)事務局に問い合わせください。

農業者年金特例納付期間

あと四ヶ月（十二月まで）

農業者年金の給付を受ける為には、保険料を一定期間納めることが必要です。ところが保険料は納期限からうっかりして保険料を納め忘れ二年間過ぎると時効となり年金を受給できなくなります。又これから加入届を出されても保険料の時効との関係で、すでに年金受給に必要な期間の保険料を納められなくなっています。そこでこれらの人々を救済するため、昭和五十三年七月から五十四年十二月末日までの期間で特例納付を認め年金に結びつけようとするものです。このような人は早目に農協で手続きをしてください。

一、特例納付できる人

①現に加入している当然加入及び任意加入者

②昭和五十一年六月三十日以前の

期間について別掲「当然加入資格者の要件」をそなえた人で加入の手続きをとっていない人（大正五年以降に生まれた六十歳を過ぎた人も含む）

③現に加入していないが以前当然加入又は任意加入しその後被保険者資格を失っている人。

二、時効完成の保険料の特例納付額

一月につき三千六百円

別掲

当然資格者要件

①国民年金加入者

②大正五年一月二日以降生まれた人。

③自己名義の農地等の面積が五〇アール以上の経営主

※詳しい事は農業委員会、農協にお問い合わせください。

地震からあなたを守る

〓 九月一日は防災の日 〓

…地震・雷・火事・おやじ…ある日、突然、何の予告もなしに襲ってくる地震の恐ろしさは昔も今も変わりありません。

わたしたちは、地震の発生そのものを防ぐことはできませんが、被害を最小限にいとめることはできます。そのためには、地震に

対する正しい知識を持って、日ごろから、いざというときの物心両面での準備を怠らないようにすることです。

九月一日は「防災の日」です。この機会に、あなた自身の防災対策を「再点検」してみましょう。

〈第1表〉 時効が完成していない時期および納期限前の通常保険の額

特例納付額 (時効完成期間)	通常保険料の額（時効未完成または納期未到来の期間）				
昭和46. 1～51. 6月分	昭和51. 7～51. 12月分	昭和52. 1～52. 12月分	昭和53. 1～53. 12月分	昭和54. 1月分～	
1月につき 3,600円	1月につき 1,650円	1月につき 2,450円	1月につき 2,870円	1月につき 3,290円	

〈第2表〉 年金支給額（昭和54年7月分から適用のもの）

保 険 料 納 付 済 期 間	保 険 料 納付総額	一 年 間 の 年 金 支 給 額					
		60～64歳	65 歳 以 降				
		経営移譲 年金 (A)	農 業 者 年 金		国 民 年 金		計
		年金 (B)	農業者老 齢年金(C)	附加年金 (D)	老齢年金 (E)	(B)+(C)+(D)+(E)	
5 年 の 場 合	円 55,800	円 376,600	円 37,700	円 47,100	円 12,000	円 354,900	円 451,700
6 〃	75,600	401,700	40,200	56,500	14,400	366,400	477,500
7 〃	105,000	426,800	42,700	65,900	16,800	378,000	503,400
8 〃	139,440	451,900	45,200	75,300	19,200	389,600	529,300
9 〃	178,920	477,000	47,700	84,700	21,600	401,200	555,200
10 〃	226,560	502,100	50,200	94,100	24,000	412,800	581,100
11 〃	274,200	527,200	52,700	103,600	26,400	424,400	607,100
12 〃	321,840	552,300	55,200	113,000	28,800	436,000	633,000
15 〃	464,760	627,600	62,800	141,200	36,000	470,700	710,700
20 〃	702,960	753,200	75,300	188,300	48,000	564,900	876,500

スポーツ



親子ソフト・ラケットボール大会

優勝

ソフト 永原地区
ラケット 竜門地区

直射日光がジリジリ照付ける七月二十九日、町内地区対抗親子ソフトボール、女子ラケットボール大会が、町営運動場で開催されました。

成績は次のとおりです。
ソフトボール
優勝＝永原、二位＝城北、三位＝城南
ラケットボール
優勝＝竜門、二位＝城西、三位＝錦江Ⅱ

軟式野球夏季大会

加治木ジャガーズ健闘

この日は、真夏の太陽の下でソフト、ラケット共小学生三人、中学生三人、親三人の編成で各地区から出場し、九チームで熱戦が展開。ソフトボール決勝では、永原が城北を十九対六で敗り、ラケットボールでは、竜門が城西を二十四対十二で敗りそれぞれ優勝しました。

町軟式野球夏季大会は、体育協会主催で七月八日、町営運動場で行われました。

この日出場したチームは、南九州病院、無邪気、南九州コカ・コーラ、桃木野、加治木ジャガーズ、明治乳業の六チームであったが、白熱した試合が展開され、決勝では、加治木ジャガーズが南九州コカ・コーラを五対三でくだし優勝しました。

最高殊勲選手賞は南原一郎（加ジャガーズ）

敢闘賞は久徳英子（南九病）でした。

町体育協会野球部では、町民みなさんの参加をお待ちしています。

炎天下での熱戦



城西（右）対城東の熱戦



熱戦が続いた一般

女子バレー大会

町内地区対抗一般女子・男子バレーボール大会は、加治木中学校体育館で女子は七月八日、男子は二十二日、全地区の九チームが出場して町民多数の応援のもと熱戦が展開された。

試合は、男女ともリングトーナメントで一勝したチームが決勝トーナメントに進む方式で、女子では「城東、城西、城南、城北、錦二、永原、竜門」が進み、男子では「城東、城西、城北、錦江Ⅰ、永原、竜門」の六チームが進み接

戦のすえ、女子は城西、男子は城北が優勝しました。
成績は、次のとおりです。

▽女子

優勝城西、二位城南、三位錦江Ⅱ

▽男子

優勝城北、二位永原、三位城東

町剣道錬成大会

木田チーム参加する

ことに意義あります

第一回加治木町剣道錬成大会は剣道連盟加治木支部主催で、七月二十二日、柁城小屋内運動場で一三〇人が参加して開催されました。この大会は「剣道の理念を根底とした剣道修練」を目的として、試合だけでなく練習のしかた等、研修をかねた大会で最後まで全員が健闘木田チームも頑張りました。成績は次のとおりです。

団体小学校の部

①警精館A ②高道館 ③加治木町剣道少年団C・同B

大人の部

①警察署B ②同A ③消防署B・コカ・コーラ

個人一般の部

①前園茂樹 ②瀬戸口貢 ③園田昌文

町夏季卓球大会

加治木中頑張る

町夏季卓球大会は、七月二十九日、加治木中学校体育館で二十三チームが出場して盛大に行われました。成績は次のとおりです。

団体戦

一般の部

優勝加治木中A ②加治木同好会 ③南九州病院・加治木高校

中学一、二年の部

優勝加治木中女子A ②同男子C ③同女子B・同男子D

個人戦

一般の部

優勝高原信晴 ②佐藤千幸 ③徳持保知 川原隆

三〇才以上男女の部

優勝上猶茂 ②佐藤陽子 ③岩神末利・外村光志

高校男子の部

優勝東一美 ②篠原正啓 ③堅山進・郡山隆

中学校一、二年男女の部

優勝上村一夫 ②今村優子 ③宮下昌子 榎谷紅美

練習会風景



話題

ワァーイ

雨の日もできるぞ
待望の屋内運動場が完成

永原小学校

町立永原小学校（児玉校長、児童数一〇五人）の屋内運動場がこのほど完成し、七月二十一日、落成祝賀会が同屋内運動場で行われました。

式では町長や教育委員会のあいさつのもと、工事の経過報告、来賓祝辞があり、続いて児玉校長が喜びのこトを述べられました。このあと児童を代表して内村久美子さんが「こなりつばな屋内運動場ができてとてもうれしいです。これもみなさんのおかげだと感謝しています。どこの学校にも負けないよう、いっしょうけんめいがんばります。」とうれしそうに述べました。



完成した屋内運動場

んばります。」とうれしそうに述べました。式典のあと、児童の学習発表会や、校区民による演芸がにぎやかに披露され落成を祝いました。同屋内運動場は、総工費五千五百四十二万二千元、床面積五百五十五平方メートル。



貯金ツボを贈る花牟礼さん(右)

10年間も積み続けた
貯金ツボが贈られる

七月十九日午前十一時、一円から十円硬貨、それに昔の百円札などが六万二千六百三円も入った大きなガラス瓶（一八〇リ）の貯金ツボがそっくり町教育委員会に持ちこまれました。

この方は、西ノ原部落の花牟礼勲さん三十九歳で「母親ミサ（七月十二日亡八十三歳）が十年前からコツコツと釣銭等をためていたものです。町の子どものためにすこしでもお役にたてば」と

町育英奨学資金に贈られました。

勲さんは八人兄弟の末っ子でたった一人の男の子、子宝に恵まれたミサさんは孫が二十一人、ひ孫が十三人いて、この孫たちのためにと生前少しづつためつけられてきたものを町内の子どもたちに贈られました。

ミサさんのご冥福をお祈りいたします。ありがとうございます。

あか・あお・きの信号

園児の寸劇に母親ホロリ

赤い大きな丸を胸につけた園児が「赤い信号あつまれ」と呼ぶと、回りから赤いトマトやリンゴの絵を下げた大きい組の園児たちがドーンと真ん中に走り寄る。「あれーッ黄色がいるヨ」「違ったのが来たヨ」と、赤色のグループがさわぎ出



「あかは、とまれデス」

す。見ると胸に大きなキュウリの絵を下けている。赤色にまぎれ込んだのだ。同じような繰り返しで黄色や緑のグループにも違った色がまぎれ込み、注意される。

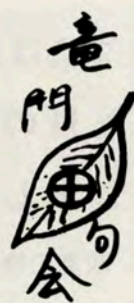
三つの色に分かれると、最年少組の登場。大きな自動車の絵を二人で持つて信号の色によって動き出すという五分間の園児の寸劇。観覧席のお母さんも始めから終りまでハラハラの連続。でも恥でなく、テレルでなく堂々と大役を演じたわが子の姿にソォーッと目頭を押さえる母親もチラホラ。

「永原保育所のみなさん、とてもお上手でした。ごころうさん」



望岳園のお年寄りをタテ網に招待（とれた3年キス）

町内須崎の郡山章さん（三三）網元では、今年も七月二十四日、望岳園に入園の元気なお年寄りを須崎海岸（別府川河口）にタテ網を張り魚のつかみ取りに招待。とれた魚を河口に TENT を張りその場で料理。お年寄りにキスのサシミ等、サービスしました。



荒梅雨の晴るる遠嶺や行々子

朝霧の退きゆく湖や合歓の花

子等遠し星逢ふ夜を妻とあて

癒ゆる兆し涼風しかと握りしむ

驟雨止み柿の実落つる音ひとつ

庭かまど炊きし暇かも青葡萄

山峡にこもる濃霧や時鳥

雨後の葉に半眼しばし青蛙

かたくなに機械を拒み田を植ゆる

橋脚の芥がしるす出水あと

徒然の老の留守居や梅雨寒し

巾広き桐下駄履くは夏祭り

開病の友の窓辺や雲の峯

▽：竜門句会主催の俳句初心者講座も、熱心な受講者の方々が予定の三か月講座を終わって、句会に堂々と進出し、上位入選の栄を得られるようになりました。

婦人会だより

毎日うるような暑さです。夏バテした方はありませんか。扇風機の前や冷房のきいた部屋にばかりいては体に毒。体を動かしておいに汗をかきましょう。



我が子への愛を 世界の子どもへ

「おやつ募金」ありがとう!!
世界の飢えた子どもたちに、私たちの一日分のおやつ代を送りましょうと言う婦人会の呼びかけに、心よく賛同くださり、限りないご協力ありがとうございました。

温いおつかさんの真心が何と十六万三千八百四十円集まりました。
この募金の殆んどは、婦人会員が自分の地域のみならず、特に錦江小PTA、加治木中母親研修会、町P連母親研修会等では、会場に募金箱を置いていただき、ご協力くださいました事、ほんとうにありがとうございます。皆様方の真心は、県婦連からユニセフを通してアジアの恵まれない子供達に届けられます。ニコッと笑った子供の顔が目につかびます。と同時に恵まれすぎた?日本の子どもの姿も浮かびます。そして子どもたちにとって幸せな社会とは?と考えます。私たちの手でこそ、よい社会づくりをしなければなりません。ひとりの力ではどうにもなりません。ご近所、となりの

地域の人々、そして町全体の人々とが手をつなぐ事が大切だと思います。

暮らしと

省エネルギー

ガス

ガスは約四三%が石油から作られています。上手なガスの使い方は石油の節約にもつながります。
●ナベのまわりから、火をはみださせたり、使わないのにつけっぱなしにしたり、忘れたりなどルーズな使い方はやめましょう。
●ナベやヤカンなど、底の広いものを選んだり材質も金物は熱しやすく冷めやすいし、土なべやホーローは、熱しにくく冷えにくいと言う特徴があり使いわけが大切です。
●コンロなど、炎が十分出るように手入れをよくしましょう。

あなたの小さな節約が

日本全体では大きな節約に

生活学校から

毎週二回、家庭から出されたゴミはどんな方法で処理されるのか、また、月二回出す危険物は、どう処理されるのか、バキュームカーでくみとられたし尿はどう処理されるのか?

生活学校では始良郡西部衛生処理組合清掃センターと、本土が原危険物処理場、そしてし尿処理場を見学しました。学級生の見学後の感想として、各家庭がゴミを出す時にゴミ暦を参考にし、もっと正しい出し方をする。みんなが機会を作って清掃センターや危険物処理場を見学し、実情を知ってもらうことなど。
もう一度、我が家は大丈夫かみなおしてみてください。



塵芥収集 (焼えない物と区別して)

文化財 37

めぐり

秋岡冬日の墓

日木山・黒川

武蔵の国江戸生まれで、寛政十一年の秋三十七歳のとき、鹿児島に来て錦水公の侍講となり

伊藤瓊山のあとをついで、毓英館主宰となつて加治木の文教発展のために尽した。いわば、加



治木の学問文化の草分けの恩人である。
天保三年二月二十九日病没し能仁寺墓地に葬る。冬日の子孫は世々端山馬場に住み、秋岡政雄氏は其玄孫にあたる。

空びん・空かん

古紙の再利用を!!

省エネルギー、省資源の時です。再生できるものは生かしましょう。空びんは酒小売店で、ボロ、紙類は廃品業者でひととおりいただきます。

婦人会でも八月は廃品回収の月になっています。捨てるのをやめて再生させましょう。

永原校区

婦人学級開講

永原校区の永原と隈原婦人会では、日赤のご指導で家庭看護法の学習に取り組みました。新しい永原の公民館に勢ぞろい、ベッドの

ゴミは決められた日の朝に出しましょう!!

「収集の後には清潔に」

作り方、食事の与え方、ねまきのかえ方など日赤の松林婦長さんのご指導のもとに勉強しています。「こんなに一生懸命やってくださると、私も元気がでます。とってもよい雰囲気。」と婦長さんもほめてくださっています。最後までがんばってください。

青少年を中心に ふるさと美化活動に汗



文之和尚墓地の清掃に励む札立の子どもたち

七月二十二日、夏休み最初の日曜日、この日は県下一斉に青少年ふるさと美化活動が実施され、本町でも美しく、住みよい町にしよう、町内の青少年から大人まで炎天下のもと奉仕活動に繰り出し汗を流しました。

これは国際児童年にちなんで計画されたもので、本町で参加した子ども会は約八十団体、ほかに高校生グループや青年団、老人クラブなどが積極的に参加して、神社や墓地、それに下水道等がきれいになりました。

心配ごと 相談

毎週木曜日
午前中町福祉
センターで相談
を受けています

文之和尚墓地が部落内にある札立の子ども会では、六時三〇分安国寺に集り、作業を前に安国寺の住職から文之和尚の偉大さなどの話を聞き、安国寺や、文之和尚墓地の除草や清掃に励みました。

子供の教育はまず 自ら勉強をしないと

町PTA母親研修会

母親として、自ら研修して、子どもの教育や健康にあたらうと、第七回町PTA母親研修会が七月二日、町福祉センターで開催されました。

この日は、町内の幼稚園から高等学校までのお母さんたち三五〇人が一堂に集まり、午前十時から午後三時三〇分まで、分科会や講話を聞き幅広い勉強をしました。

研修会は「母親として子どもの健康管理をどうすればよいか」を主題に「三・分科会に別れ食生活、公害食品などについて研究討議を行いました。昼食のあとは、レクリエーションを楽しみ、つづいて全体会に入り各分科会での発表が行われた。

講話では、「今日の青少年の現状と母親の役割」と題して県青少年会館指導員の竹之下正幸先生が「多情・多感な青少年は単純な面が多く、考えることにブレイキがきかない。無感動で理想は大きくとも、悲しみを知らなく死を恐れない。これは一つの問題点として母親が作ったもの、ぬか味噌の漬物の味を知らない子どもが多いことではないか、買って与えたものでは母親の味ではないと、母親のあり方を指摘された。

あなたは国民健康保険 をよくご存じですか？

①〈国保はたすけあいの保険〉
お医者さん等にかかった時、あなたが支払うのは費用の三割だけで、残りの七割は国民健康保険（国保）から支払われています。その費用はみんながいざという時に備えて出したお金（国保税）と、国や県の補助金で賄われています。国保はみんなで助け合っています。あなたの健康を守る保険なのです。

②〈国保をよく理解して
大切にしてください〉
加治木町では、みなさんに国保

のことをよく理解してもらうために広報活動を行っています。あなたの理解と協力がなければ国保は運営できません。あなたも広報かじきや国保だより、先般配布しました小冊子「国民健康保険」等をよく読んで国保への理解を深め、あなたの体と同様にみんなの国保を大切にしてください。

〇見直そう

自分の体と
みんなの国保!!

増え続ける少年非行

昨年は過去10年間で最悪

「うちの子に限って…」という自信も結構ですが、この機会にあらためて、家庭でのコミュニケーションについて考えてみましょう。中学、高校生が7割。



自衛官を募集

ただいま防衛庁では、自衛官を募集しております。

▽二等陸海空士

高校卒業予定者の試験は、十月初旬に実施

▽一般曹候補生(高卒)

受付 八月一日〜九月二十九日

一次試験 十月七日

▽自衛隊生徒(中卒)

受付 十一月一日〜十二月二十二日

一次試験 来年一月五日

▽その他防衛大学校生、航空学生
婦人自衛官等も募集しております。
詳しくは、町役場住民課、または、
自衛隊国分募集事務所(電話
〇九九五四一五一一八三六)へ

うぶ声

六月二十一日から
七月二十日受付分

出生者	保護者	部落
白尾雅敏	敏春	高井田
國生まゆみ	開蔵	蔵王団地
國生めぐみ	開蔵	蔵王団地
中森慎也	健一	高井田
山元洋人	剛	西江口団地
持留完	強	江湖
福永浩平	巧	内原田
田村和枝	俊明	蔵王団地
東 寿明	明見	南塩入
原口 舞	和雄	東諏訪
上枝純也	市郎	隈原上
栗元 等	一雄	辺川下
大薄洋一郎	四男	高井田
東中彩乃	一夫	反土黒川
平山美恵	護	田中
山下博文	順一	春日団地
吉原玲子	和男	西塩入上
内田美穂	泰治	南塩入
中村由香利	数廣	反土黒川
木村洋憲	義憲	岩原東
松永 庸	明	田中
大重ルミ	悦郎	蔵王団地
水流田美穂	三郎	東諏訪
馬庭大祐	憲二	岩原東
武田俊一	俊郎	蔵王団地
木下博志	和俊	浜村
緒方順二	正治	日木山黒川
上猶明美	文明	春日団地
古市加奈子	彰久	垂ノ口
榎谷 茜	春男	丸岡
市来美保	賢二	萩原
田中道子	實行	端山

国民年金被保険者等

生きがい講座が開催

参加者を募集中

全国国民年金福祉協会連合会
及び財団法人県国民年金休養施設
協会では、国民年金被保険者
受給権者等に対する「生きがい
対策」事業として、次のとおり
生きがい講座を開催いたします。
目的は、被保険者等に対して
相互交流の場をつくり、趣味の

作業室教養講座等を持ち、それぞ
れの生きがいに寄与するため開催
されます。

〇期日

一回目 昭和五十四年九月二十
七日〜二十八日

二回目 昭和五十四年九月二十
八日〜二十九日

〇場所

垂水市錦江町国民年金保養セ
ンター 垂水温泉ホテル

〇会費

一人二、五〇〇円(一泊二食
懇親会を含む)

〇募集人員

各回五〇人(定数になり次第
締切り)

〇申込み

町役場住民課、または垂水市
国民年金保養センター
〇申込みと同時に会費二、五〇
〇円を添えて申込み。

香典返しを

寄付

香典返しのかわりにご寄付をい
ただきました。厚くお礼申し上げ
ますとともに故人のごめい福をお
祈りいたします。(内は故人

〇町社会福祉協議会へ

二万円	中野 下小牧スエマツ(満雄74)
一万円	毛 上 川辺フクエ(竹夫73)
一万円	鶴 原 向江 イト(清伸78)
一万円	西塩入上矢野 与吉(テル51)
二万円	港 町 亀井 ノキ(清一78)
二万円	葛蒲谷下山下タイ子(公子20)
二万円	柳 田 後藤 睦子(昭50)
二万円	井手向 前田 フク(初男72)
二万円	港 町 佐藤サツ子(孝68)
二万円	中野 中野サ子(繁75)
二万円	茶碗屋 美坂ヒサ子(久67)
二万円	反土黒川木場 節雄(宗次郎87)
十万円	西ノ原 花牟礼 勲(ミサ81)

〇町育英奨学資金へ

五万円	柳 田 後藤 睦子(昭50)
五万円	港 町 佐藤サツ子(孝68)
六万二千六百三円	西ノ原 花牟礼 勲(ミサ81)

〇町国民年金協議会へ

一万円	柳 田 小川 重年(不二夫71)
一万円	小 陣 山元ハル子堀之内岐次郎86)
五千円	小 陣 清治(福次キヨ84)
三千円	西塩入下南 親男(金次郎89)
一万円	下新道 八重倉 優(十助83)
一万円	始良町 福富 力(ラエイ)
五千円	岩原西 池田 栄(ニワ80)

〇町身体障害者協会へ

▽七月二十日までのご寄付を掲
載いたしました。

今 月 は
町 民 税、
固 定 資 産 税
二 期 の 納 期
で す。